

原山台校区地区防災計画
個別詳細マニュアル
(初動編[安否確認])



令和8年度版

※「原山台校区地区防災計画」から抜粋したものです。

1.単位自治会初動マニュアル

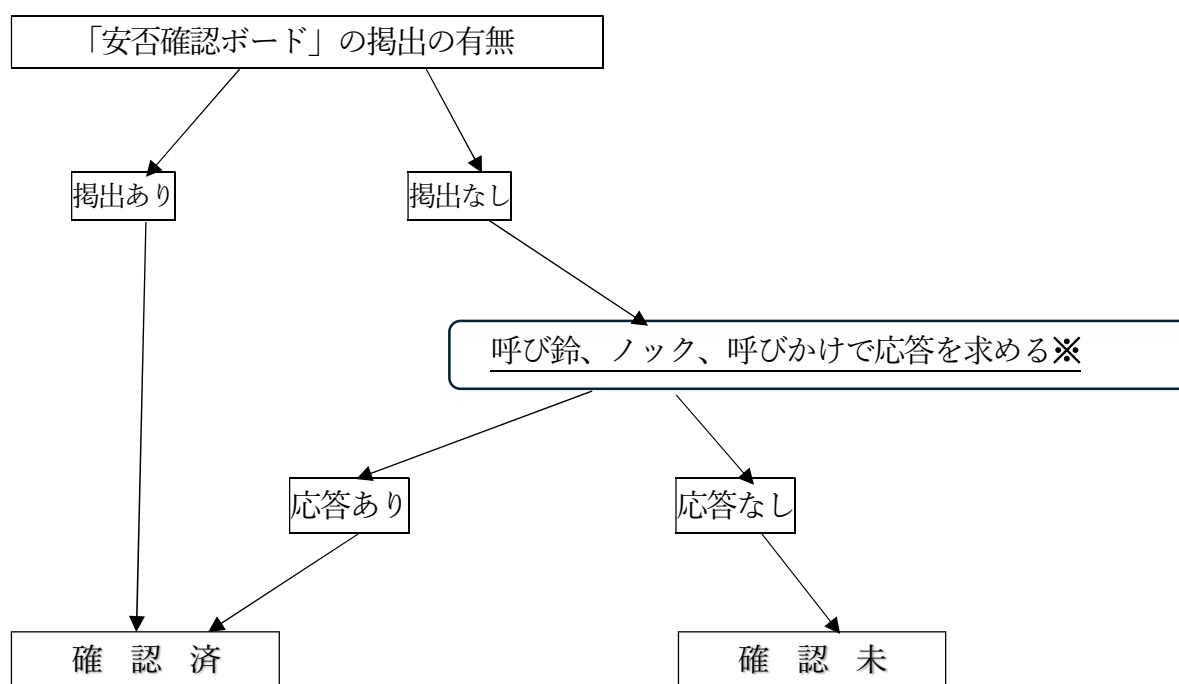
〇〇自治会(作成例)

1.全世帯を安否確認可能な班に割り振り、その班の担当者を定めておきます。

担当者の指揮者は自治会長とします。

2.堺市内で震度 6 弱以上の地震発生時に担当者は「安否確認ボード」などにより各班世帯の安否確認を行います。

3.担当者の安否確認は以下の手順で行い別記様式に記載します。



※可能な範囲で応答の結果は状況を確認し、必要な対応をとるとともに自治会長に報告します。

4.担当者は結果を自治会長に報告し、自治会長は別記様式にまとめ、原山ひかり校区災害対策本部の連合自治会長に報告します。

◎「確認済み世帯」のうち指定避難所に避難希望者は自治会長が安全な経路で指定避難所まで誘導します。なお、指定避難所では避難者名簿を提出します。

班 安否確認表 記入例

自治会長提出用 班安否確認表						
17日		22 時		45 分 現在		No. 1
第 3 班		確認者 ○○ ○○				
室番号	確認済 (世帯)	確認未 (世帯)	詳細内容			
			不在 (世帯)	閉じ込め (世帯)	けが (人)	要搬送 (人)
501	○					
502	○			○ ←		
503		○	○ ←			
504		○				
505	○				2	
506	○					
507		○				
508	○					1
509						
計	5	3	1	1	2	1

備考(詳細内容の概要等を記入)

502号室 ○○宅は呼びかけに答えるもドアが変形し救出不可能

503号室 ○○宅は長期出張中で留守宅

505号室 ○○宅の○○は転倒により足負傷、○○は割れたガラスにより手負傷

508号室 ○○宅の○○は避自力避難困難者で避難所に搬送必要

確認した時間順に番号を記入する

班番号、確認者氏名を記入する

「確認済」「確認未」「不在」「閉じ込め」は世帯(住戸)単位で○等でチェック、「けが」「要搬送」は人(在宅者)単位で数字、「計」は合計を数字で記入する

声かけの結果、中から助けを求める声などがあるも、単位自治会で対応可能な場合

留守、施設入所等で不在が予想される場合

地震で負傷した者

自力避難困難者で当該居室から避難が困難な者

空き家の場合は二重線で削除し集計しない

可能な範囲で「詳細内容」などの概要等を記入する

単位自治会で対応不可能の場合は、行政機関などに引き継ぎを行いますので必ず記入する

連合自治会長提出用 [〇〇〇〇〇]自治会安否確認表						
日 時 分 現在			No.			
報告者						
班	確認済 (世帯)	確認未 (世帯)	詳細内容			
			不在 (世帯)	閉じ込め (世帯)	けが (人)	要搬送 (人)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
計						
備考(詳細内容の概要等を記入)						

時 分現在

区役所の報告

済 / 未

原山台地区 安否確認集計表

報告時間

時 分

報告者

自治会名	確認済 (世帯)	確認未 (世帯)	詳細内容			
			不在 (世帯)	閉じ込め (世帯)	けが (人)	要搬送 (人)
泉北原山台住宅 管理組合						
泉北原山台C団地 管理組合						
公社原山台団地 自治会						
原山台テラス 自治会						
原山台コーポ 管理組合						
原山台5丁1番 自治会						
ローレルコート 梅・美木多 管理組合						
グランフォレスト コート梅美木多 管理組合						
梅 自治会						
計						